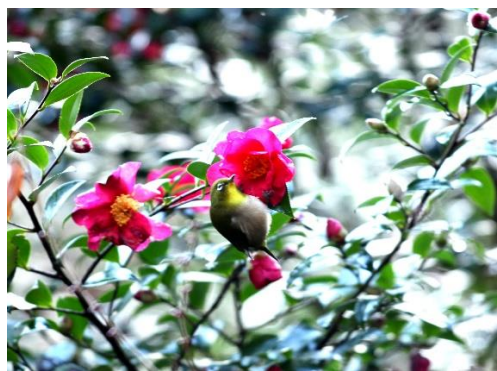




愛川ふれあいの村 今月の風景

2023年1月 自然のたより

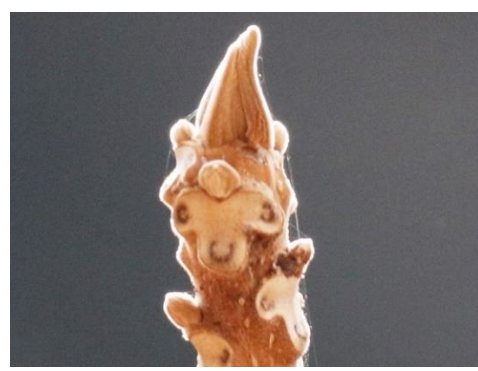
長年、ふれあいの村のシンボルとして村を見守ってきたシダレザクラが、昨年12月の強風の折に倒れてしまいました。いつもとは違うその光景にまだ戸惑ってしまっていますが、残された「ひこばえ」に、これからを託していきたいと思います。寒空の下、閑散とした村内では、ウメやロウバイの花が咲き、フユシャクの仲間が姿を現すなど、この時期ならではの光景で我々を楽しませてくれます。年が変わっても、時期を誤らずに移り変わっていく様に、自然の神秘を感じます。(袖山)



サザンカの蜜を吸うメジロ



綿毛が美しいコボタンツル



オニグルミの葉痕



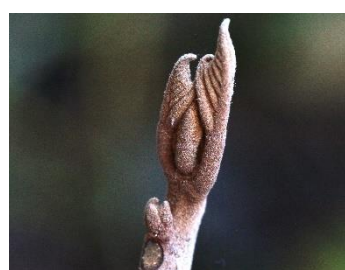
三段になった霜柱



春を待つフデリンドウ



シモバシラ（氷の華）



いないいないアカメガシワ



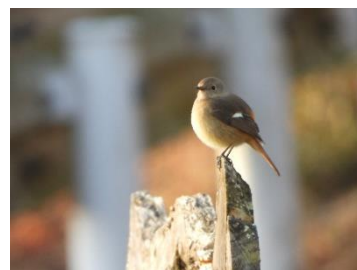
アオジ♂



アオジ♀



群れているイカル



ジョウビタキ



冬鳥のツグミ



カケスなに思う



獲物を狙うツミ



ウグイス

トピックス★Today Trees, Tomorrow Men★

去年の12月22日夜、50年間村を見守ってきたシンボルツリーのシダレザクラが倒れました。職員はもちろん、利用者の皆さん、近隣の住民の方々にも愛されたシダレザクラです。翌朝、出勤して来た職員は根元から倒れた桜の木を見て、茫然とするだけでした。

そんなこともあり、以前もご指導いただいた、樹木医の鈴木清先生に來村してもらい、今後の対応などをご指導いただきました。

先生と村内を散策しながら、樹木について様々な助言をいただきました。昭和47年県立野外教育センターとしてスタートし、元々は畑だった土地に76種類、1400本の苗木が植えられました。それから50年、大きく成長した木もあれば、枯れてしまった木もあります。堂々と天をつくようにたくましく育ったメタセコイア、当時、村で一番高い木で、台風で倒れたポプラなど、木々たちにとっても多くの事があった50年だったと思います。そして今、シダレザクラが倒れてしまいました。

樹木や草花が多様性を持ち元気に繁茂する自然環境は、植物にとどまらず、そこで暮らす（生きる）多くの虫や鳥たちにも大切なものです。ひいては、そこに暮らす明日の人間にとっても大切な環境です。

幸い、倒れたシダレザクラの周りには何本かのひこばえ（親の根元から出ている芽）が出ています。今はそれを生かし二代目シンボルツリーを育てようとしています。（高梨）



生き物 ★のうさぎ★

2023年の干支は「ウサギ」。モフモフとした毛並み、クリクリした目が愛らしい動物です。

うさぎは、ノウサギ類とアナウサギ類に分けられ、アナウサギは、大きな目と鳴き声が小さく人なつこい性格が好まれ江戸時代からペットとして飼われていました。一方、ノウサギは狩猟の対象で食用とされてきました。近年、ふれあいの村でも警戒心の強いノウサギに出会うことが少なくなりました。スキー場でリフトの上からウサギの足跡を見ることがあります。足跡を追ってノウサギを見ることができたら嬉しいですね。

今年は、うさぎ年。飛び姿から飛躍・向上と新しい事に挑戦する良い年です。

今年も皆にとって良い年になりますように！（菅原）



旬 ★甘酒★

初詣に行った時などにふるまわれることの多い「甘酒」。白く濁った見た目と食感に好みは分かれますが、ほのかな甘みが私は好きです。

甘酒はビタミンB1、ビタミンB2、オリゴ糖、食物繊維、アミノ酸、ブドウ糖などの栄養成分が含まれ、「飲む点滴」と呼ばれています。

炊飯器でおかゆ状に炊いたお米に米糲を入れ、しばらく保温して発酵させる方法だと、温度管理も楽で、比較的簡単に甘酒を作ることができます。

村ではみそづくりのために麴を仕込みますが、自分で仕込んだ麴で作る甘酒の味は格別です。

甘酒に限らず、麴やみそなど発酵食品を手作りする楽しさを皆さんもぜひ体験してみてください。（袖山）



来月の見どころ
ヤドリギはなぜ生えた
村一番の大きな樹木、ポプラが二十八年の台風二十一号で倒れてしまった。ヤドリギは倒れた木の二十メートルほどの高い枝にこんもりと丸くなって着生していたが、ポプラが枯れてしまい無くなってしまった。
残った一本のポプラも高い枝の先端は切ってしまい寂しげになったが、最近になって葉も徐々に茂り始めコケ類も着生し始めた。
「木ラリ」で使う樹木なので札を直した。この時期は緑の葉はすべて落葉しているはずだが、枝元に緑色の葉が少し見えた。何だろうと思い近づくとヤドリギが元気に育ち小さいがたくましそうな来年の芽が見え、ヤドリギはなぜ生えたという疑問がわいた。
キレンジャクなどレンジャク類は、ヤドリギの実を好んで食べ繁殖に役立っている。誰も知らない間にこの冬鳥たちが現れどこかで食べたヤドリギの実を落としていったのかもしれないと思うと楽しみである。ふれあいの村の自然観察会には是非ご参加を。（吉田）